

2019 年度社会医学実習テーマ

1. 国立大学附属病院の財務分析

国立大学が法人化されて以降、財務諸表が公開されている。附属病院については、損益計算書に相当するセグメント情報が公開されている。そこで、この実習では、全国の国立大学附属病院の財務諸表を収集し、財務状況について分析して考察する。

2. 人口当たり研修医数の都道府県間格差に関する研究

新医師臨床研修制度が導入されて以降、大都市に研修医が集まりやすく地方都市に研修医が少ないという都道府県間格差が拡大したとされる。この実習では、各種資料から研修医の都道府県間格差を評価し、今後の対策を考える。

3. ひきこもり支援に関する実態調査

8050 問題などひきこもりの高齢化が問題になっている昨今、県内のひきこもりに関する課題も多様化し、行政のみならず民間団体等も積極的にひきこもりからの回復を支援している。今回、県内にあるひきこもり支援の事業や団体などの実態を把握し、今後の課題やあるべき姿について検証を行う。

4. 地域における自殺対策計画の課題

第 2 期自殺対策基本法は改定にあたって地域独自の「自殺対策計画」の策定を義務づけた。それに伴い 2018 年度末までに各自治体において独自の「自殺対策計画」が作成され公表されている。今回、県内各市町村を調査し、独自の「自殺対策計画」の特徴や課題などを明らかにする。

5. 保健所医師の保健医療行政に関する学習と実習

病院勤務医と異なり、保健所医師は地域社会の健康問題に対処することを使命としている。業務内容は感染症や食中毒への対応の他、地域住民の健康づくり、生活習慣病予防、子育て支援、児童虐待への対応など健康や福祉に関わる幅広い項目に及ぶ。今回の実習では班内での対話的な学習と保健所での実習を通し、保健医療行政の基本や課題について学ぶ。

必要図書：安武繁、保健所研修ノート第 4 版 医歯薬出版株式会社

6. 医学に関連した健康マップの作成

近年社会医学の分野では、結果の見える化=「マッピング」の技術が注目されている。公表されている統計として、国民健康・栄養調査や生活基礎調査の他、地域ごとの医師数や専門医数や分布などがある。今回の実習では過去の医学論文を参考に、公表データを用いて健康マップを作成する。

使用する地図ソフト：MANDARA10 <http://ktgis.net/mandara/>

7. 小児環境保健の世界の取組み

子どもの成長や発達に影響を及ぼす環境要因を明らかにする目的で、世界では多くのコホート研究が行なわれている。小児環境保健の世界の取組みについてとりまとめる。

8. 働き方改革と今後の産業保健

最近の労働衛生の動向、特に働き方改革の中での今後の産業保健のあり方について考える。

9. 高血圧症と生活習慣や環境に関する文献的レビュー

高血圧症は男女共に通院者率の最も高い疾患であり、原因としては遺伝的素因以外に、食生活、喫煙、運動不足、ストレスなどが関与していると言われている。本実習では、高血圧症と生活習慣や環境に関して今までにどのような報告がされてきたか文献的レビューを行う。

10. 都道府県別の高血圧症と生活習慣や環境との関連について

都道府県別に、高血圧症の有病率と生活習慣や環境との関連性について、患者調査（厚生労働省）、家計調査（総務省）、国民健康・栄養調査（厚生労働省）などのデータを利用して地域相関研究（生態学的研究）で検証する。

11. 糖尿病と環境因子の相関について

厚生労働省の「2016年国民健康・栄養調査」によると全国で糖尿病が疑われる成人の推計が1,000万人に上った。糖尿病は一生の病気であり、合併症が多く、「糖尿病腎症」は人工透析の原因1位になっている。本実習では、糖尿病と環境因子の相関について文献的に考察を行う。

12. がんと環境因子の相関について

科学と社会の著しい発展に伴い、感染症や脳血管疾患などは著しく減少しているが、がんの罹患率は増加する傾向であり、その死亡率も依然として非常に高い。今回の実習ではがんと環境因子の相関について文献的に考察を行う。

13. 小児期から成人の骨密度形成と生活・運動習慣に関する文献的レビュー

骨粗鬆症は生活習慣の一つであり、高齢期に骨折が起これば健康的な生活を送ることができなくなる。健康的な高齢期を迎えるために若い世代にどのような生活習慣が必要かを提示するため、小児期から成人の骨密度形成にかかわる要因に関して文献的レビューを行う。